

# 平成28年度 消防長「政策宣言」達成状況

消防長 前川 和 弘

## ○ 平成28年度重要事業

事業名	住宅防火対策の推進
目 標	消防関係団体が連携し、各種防火対策を推進するとともに、住宅用火災警報器の設置の徹底、適切な維持管理の周知及び経年劣化した住宅用火災警報器の交換の推進、併せて防災製品等の普及促進を図ります。
年度末達成状況	市内各所の住宅防火診断を実施し、住宅用火災警報器の設置及び経年劣化した住宅用火災警報器の交換の推進に努めました。 各種広報紙やホームページ等を通じ防災製品の普及促進を図りました。
自己評価	各種災害出動が増加する中で、職員及び消防団員が協力し市内各所の住宅防火診断等を実施し住宅からの火災を減少させることができました。 今後も関係団体と協力し、市民の安全・安心な暮らしを守っていきます。

事業名	救急・救命体制の充実
目 標	救急救命士の常時2名乗車を目指し、救急救命士の養成及び採用を計画的に進めるとともに、救急業務の高度化に対応するため、救急救命士の知識、技術の向上を図ります。 また、応急手当の普及啓発を進め市民が万一の際に応急処置ができるよう救命講習会の受講を働きかけます。
年度末達成状況	救急救命士の常時2名乗車は全体の5割と徐々に数値が上がっています。また、2名の救急救命士を採用するとともに、職員1名を派遣し養成に努めました。 消防学校における講習や病院実習において、救急隊員及び救急救命士の知識・技術の向上を図りました。 救命講習会は、105回開催し、3千名を超える方に受講して頂きました。
自己評価	救急救命士の養成及び採用は計画的に実施することができました。 また、救急救命士の2名乗車は、今後の採用と養成により乗車率が上がるものと思います。

事業名	消防力の維持・強化
目標	<p>現場力の維持強化を図るため、消防職員の基礎能力、応用能力等をも高める訓練や部隊連携等の訓練を充実強化することにより、災害対応能力の向上を図ります。</p> <p>また、消防車両等は、整備計画に基づき老朽化の著しい車両を優先して更新し、消防力の維持に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>若い職員が増加する中で、現場対応力に不安のないように、実践に即した訓練を実施し、若い隊員の教育指導及び中堅幹部のレベル向上を図りました。</p> <p>車両の更新は、はしご車と消防団車両1台を計画的に更新できました。</p>
自己評価	<p>消防車両等の更新は計画どおり整備することができました。</p> <p>消防職員のスキルアップには、講習や研修における知識の習得だけでなく現場活動の経験が必要であり、まだまだ時間がかかるものと思われまます。</p>